

平成28年 7月22日

信 州 大 学 長 殿

信州大学医学部長
池 田 修 一 (公印省略)

動物実験計画書について (申請)

このことについて、別添のとおり動物実験計画を申請します。

動物実験計画承認申請書

信州大学長 殿

(選択項目を■すること。)

■新規 □変更
変更前承認番号【 】

信州大学動物実験等実施規程(平成19年信州大学規程第153号。以下「実験規程」という。)第6条第1項の規定に基づき、下記の実験計画の承認について申請します。

提出年月日 平成28年7月22日 受付年月日 平成28年7月22日 受付番号 260077

研究課題 NF-κBp50 ノックアウトマウスを用いた各種ワクチン接種後の神経細胞変性に関する研究

研究目的 NF-κBp50 ノックアウトマウスに種々のワクチンを接種し、神経細胞に対する自己抗体産生の有無を調べる。

フリガナ	ハヤシ タクマ	部局名	職名	動物実験の経験等 (選択項目を■すること。)
氏名	林 琢磨	医学系研究科免疫制御学	准教授	総年数(21年) 教育訓練受講の■有□無
e-mail	██████████	連絡先 Tel. ██████████		
	██████████ (██████████)	連絡先 Tel. ██████████	██████████	総年数 ██████████ 教育訓練受講の■有□無
	██████████ (██████████)	連絡先 Tel. ██████████		総年数()年 教育訓練受講の□有□無
	██████████ (██████████)	連絡先 Tel. ██████████		総年数()年 教育訓練受講の□有□無
	██████████ (██████████)	連絡先 Tel. ██████████		総年数()年 教育訓練受講の□有□無
	██████████ (██████████)	連絡先 Tel. ██████████		総年数()年 教育訓練受講の□有□無

実験実施期間 平成26年7月1日～平成28年7月20日

飼養保管施設及び実験室	飼養保管施設の名称	施設461・557号第4研究室	実験室の名称	施設461号飼育室
-------------	-----------	-----------------	--------	-----------

使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
	マウス	NF-κBp50KO	♂♀	20	普通	██████████	
マウス	BALB/C	♀	10	普通	██████████		

研究計画と方法

研究概要 (研究計画と方法について、動物実験等の知見を有しない者にも理解できるように平易な表現で概要を記入すること。情報公開できない部分に下線を引くこと。)
NF-κBp50 ノックアウトマウスに各種ワクチンを接種した後、神経細胞に対する自己抗体産生の有無を解析する。

実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせること。)
10週齢時にワクチン(肝炎、インフルエンザ、HPVなど)をマウス大腿に接種(im)し、1ヶ月後に2回目の接種を行う。初回接種から約6ヶ月～9ヶ月後に麻酔下で採血した後、安楽死させ、解剖し、臓器を摘出する。得られた血清を用いて組織染色などを行い、神経細胞に対する自己抗体の有無を免疫学的に評価する。ワクチン1種につき3～6匹を用いる(計20匹)。本実験では、ホモノックアウトを用いるので、交配過程で生じるその他のマウス(約500匹)は、安楽死処分する。

特殊実験区分 (該当項目をすべて■すること。) 特殊実験の内容	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input checked="" type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A (信州大学遺伝子組換え実験等安全管理規程(平成16年信州大学規程第115号)第15条に定める通知(承認書)の写しを添付すること。) <input type="checkbox"/> 3. 放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 4. 発癌物質等の有害化学物質を用いる実験 <input type="checkbox"/> 5. 共同研究・委託実験など他施設における動物実験を含むもの (委託先での動物実験の承認が必要。承認書のコピーを添付すること。)
	特殊実験の内容

動物実験の種類 (選択項目を■すること。) <input checked="" type="checkbox"/> 1. 試験・研究 <input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練 <input type="checkbox"/> 3. その他	動物実験を必要とする理由 (選択項目を■すること。) <input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。 <input type="checkbox"/> 3. その他 (理由:)
---	---

想定される苦痛のカテゴリー (選択項目を■すること。) <input type="checkbox"/> B. 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input checked="" type="checkbox"/> C. 動物に対して軽度のストレス又は痛み(短時間)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D. 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えらると思われる実験。
--

動物の苦痛軽減・排除の方法 (該当項目をすべて■すること。) <input type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束及び注射等、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 <input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (薬剤名・投与量・経路を記入すること。: ジエチルエーテル吸入麻酔、ネンプタール(50mg/kg ip)) <input type="checkbox"/> 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとる等の人道的エンドポイントを考慮する。 <input type="checkbox"/> 5. その他 (具体的に記入すること。:)
--

安楽死の方法 (該当項目をすべて■すること。) <input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 (薬剤名・投与量・経路を記入すること。:) <input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス <input checked="" type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 (具体的に記入すること。: 頸椎脱臼) <input type="checkbox"/> 4. 安楽死させない (その理由を記入すること。:)

動物死体の処理方法 (選択項目を■すること。) <input type="checkbox"/> 1. 大学内で焼却 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 外部業者に依頼 <input type="checkbox"/> 3. その他 (具体的に記入すること。:)
--

その他必要または参考事項 (過去の動物実験計画承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設及び実験室の承認状況等を記入すること。) 承認番号230018(動物実験)と承認番号10-039(遺伝子組換え実験)に関する。

委員会記入欄 (選択項目を■すること。) 審査終了日 平成 年 月 日 修正意見等 審査結果 <input type="checkbox"/> 本実験計画は、実験規程に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 信州大学遺伝子組換え実験等安全委員会の承認後、実験を開始すること。) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、実施規程に適合しない。	
	承認番号